

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第2区分
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-77459(P2000-77459A)
【公開日】平成12年3月14日(2000.3.14)
【出願番号】特願平10-246065
【国際特許分類第7版】

H 0 1 L 21/60
G 0 2 F 1/1345
G 0 9 F 9/00
H 0 5 K 1/18

【F I】

H 0 1 L 21/60 3 1 1 Q
G 0 2 F 1/1345
G 0 9 F 9/00 3 5 2
H 0 5 K 1/18 L

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月25日(2005.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

半導体チップに形成された複数の電極パッドと、前記電極パッド上に形成された突起電極と、前記突起電極と対向するように設けられ、前記突起電極と接続する端子電極が形成された基板と、を備え、

前記突起電極のうち少なくともひとつの突起電極が複数の前記端子電極と接続されたことを特徴とする半導体装置。

【請求項2】

前記複数の端子電極に接続された前記突起電極と異なる突起電極と対向するように設けられた端子電極のうち、少なくともひとつの端子電極の周りには、これを囲むとともに該端子電極とは電氣的に独立した配線パターンが前記基板上に設けられたことを特徴とする請求項1に記載の半導体装置。

【請求項3】

半導体チップに形成された複数の電極パッドと、前記電極パッド上に形成された突起電極と、前記突起電極と対向するように設けられ、前記突起電極と接続する端子電極が形成された基板と、を備え、

前記端子電極の少なくともひとつの端子電極の周りには、これを囲むとともに該端子電極とは電氣的に独立した配線パターンが前記基板上に設けられたことを特徴とする半導体装置。

【請求項4】

半導体チップに形成された複数の電極パッドと、前記電極パッド上に形成された突起電極と、前記突起電極と対向するように設けられ、前記突起電極と接続する端子電極が形成された基板と、を備え、前記突起電極のうち少なくともひとつの突起電極が複数の前記端子電極と接続された半導体装置の検査方法であって、

前記複数の突起電極のうちひとつの突起電極に電源と電流計を直列に接続し、他の突起電

極に電圧計を接続することを特徴とする半導体装置の検査方法。